

ひろしまの 土地改良



2026年 第283号



未来へつなごう!ふるさとの水土里 ^{みどり} 子ども絵画展2025
水土里ネット福山 くawaii大賞
『近所のくわいばたけ』 金藤 綾那

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

広島県土地改良事業

団体連合会

(水土里ネットひろしま)

会長 高垣 廣徳

副会長 奥田 正和

副会長 上田 浩司

常務理事 三村 裕史

理事 吉田 隆行

理事 箕野 博司

理事 福岡 誠志

理事 松田 一馬

理事 枝廣 直幹

理事 入江 嘉則

理事 平谷 祐宏

代表監事 今榮 敏彦

監事 久川 廣昭

監事 仲伏 英雄

外職員一同

令和八年元旦

新年のごあいさつ



みどり
水土里ネットひろしま
広島県土地改良事業団体連合会
会長 高 垣 廣 徳

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員並びに農業農村整備事業関係者の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶びを申し上げます。また、日頃から本会の運営に対しまして、格別のご支援、ご協力を賜っておりますことに、改めて厚く御礼申し上げます。

昨年は、改正された「食料・農業・農村基本法」の方向性に即した農業生産基盤の整備及び保全を的確に実施できるよう「土地改良法」の改正が行われるとともに、「新たな食料・農業・農村基本計画」やこれを踏まえた新たな「土地改良長期計画」が閣議決定されました。

新たな土地改良計画は、初動5年間で農業の構造転換を集中的に推し進められるよう、「生産性向上等に向けた生産基盤の強化」「農業用水の安定供給及び良好な排水条件の確保」「増大する災害リスクに対応するための農業・農村の強靱化」「農村の価値や魅力の創出」が掲げられています。

特に中山間地域を多く抱える本県では、全国に先行して、農業者・担い手の減少並びに高齢化、農地の荒廃、農業水利施設の老朽化が進むなど、喫緊の課題が山積しております。

このような中で、ほ場の大区画化や水田の汎用化、畑地化、農地の集積・集約化を推進し、生産基盤の強化を図るとともに、スマート農業やデジタル技術の活用による効率化・省力化を進めていくことは、地域農業を守り持続させるために欠かせないものと考えています。

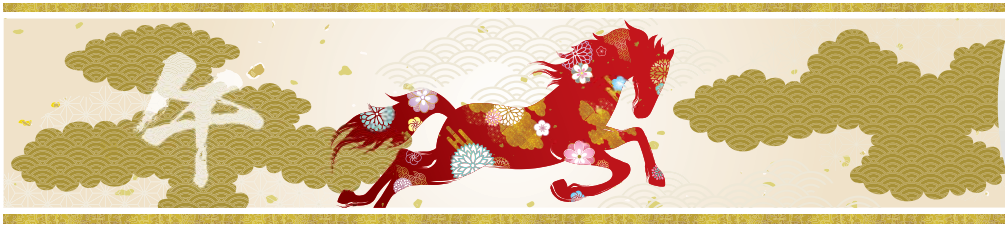
さらに、安全で安心な農村地域の形成を着実に進めていくためには、防災・減災対策の一層の強化も必要です。基盤整備と防災・減災対策の技術的な支援を行う水土里ネットの役割が、より一層重要となっています。

本会と致しましては、長年培ってきた技術と経験を最大限に活かし、かつ継承しながら、農業農村整備事業を積極的に推進して地域の課題が確実に改善されるよう、国・県・市町・土地改良区・関係団体と連携を密にし、役職員一丸となり、取り組んで参ります。

本年も一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

令和8年1月

新年のごあいさつ



広島県農林水産局長
むか い まさ ふみ
向 井 雅 史

輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様には、平素から本県の農業・農村の振興に多大な御貢献を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年10月には「安全・安心、持続可能な農村地域のため池」をテーマに、「2025ため池フォーラムinひろしま」を開催し、多くの皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。特別講演や現地見学会では、広島県が進めているため池総合対策や、保全の取組事例を知っていただき、今後のため池の防災力強化につなげることができたのではないかと考えております。

近年、大規模な地震や全国的な異常気象の増加に伴う豪雨災害、国際情勢の不安定化、農業人口の減少・高齢化などの厳しい環境により、農業生産の脆弱性が増しています。このような状況を受け、国において令和6年に食料・農業・農村基本法が改正され、令和7年に新たな基本法に基づく食料・農業・農村基本計画に加え、次の5年間のための土地改良長期計画(令和7～11年度)が策定されました。

こうした農業を取り巻く環境が大きく変化している中、県といたしましては、農業農村整備事業により生産性や収益性の向上を可能とする生産基盤の整備を進め、農業の担い手と地域が連携して、持続的な農業生産活動ができるようにしていくことが重要であると考えております。

このため、農地の大区画化や畦畔法面の緩傾斜化、用水路のパイプライン化、また、園芸作物の生産に不可欠な排水対策などの基盤整備により、スマート農業技術を十分活用できる環境を整え、地域の担い手への農地集積による生産性向上やICT技術を活用した管理の省力化とともに高収益作物の導入などによる収益性の確保を実現して参ります。

また併せて、日本型直接支払制度の活用により、農業生産を継続することによる災害の防止や水源かん養などの多面的機能を維持・発揮させていくため、地域が共同して農地を有効活用し、農業用施設を管理する取組を支援して参ります。

さらには、気候変動の影響により、災害の頻発化、激甚化が顕著となっていることから、地域で安心して暮らしていけるよう、防災・減災対策を強化することも必要です。とりわけ、全国1位の数である防災重点農業用ため池の防災・減災対策につきましては、迅速な避難や管理強化などのソフト対策と、補強や廃止などのハード対策を一体的に推進して参ります。

このような、農業基盤の整備、農地や農業用施設の保全対策並びに防災・減災対策などの農業農村整備事業を着実に進めていく上では、国、市町並びに土地改良区をはじめとした、関係の皆様様の御理解・御協力が不可欠でございます。本年も引き続きの御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、農業農村の振興と皆様方の今後ますますの御健勝と御活躍を祈念いたしまして新年の御挨拶といたします。

令和8年1月

ため池支援センター便り

「2025ため池フォーラムinひろしま」が開催されました！

令和7年10月23日(木)、「2025ため池フォーラムinひろしま」が広島市のJMSアステールプラザにおいて開催され、全国から約600名の関係者が参加しました。

今年のテーマは「安全・安心、持続可能な農村地域のため池」。近年、農業用ため池を取り巻く環境が大きく変化する中、ため池の安全確保と安心して暮らせる地域づくり、そして次世代につなぐための取り組みについて、知見を深める場となりました。



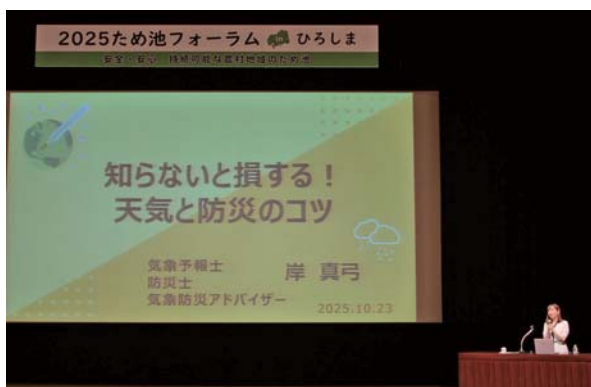
1日目 フォーラム(10月23日)

冒頭、山根広島県副知事が、多くの参加者への感謝と歓迎の言葉を述べられました。

続いて、農林水産省防災課 中藤課長より、国の政策と連携した災害に強い地域づくりへの期待が示されました。情報提供として、進藤金日子参議院議員からは、ため池対策の加速化に向けた国の支援についてビデオメッセージが寄せられました。



特別講演では、オフィス気象キャスター株式会社の気象予報士、岸真弓氏が「知らないと損する！ 天気と防災のコツ」と題し、近年の気象災害を踏まえた実践的な防災知識を分かりやすく解説されました。



基調講演では、広島大学名誉教授の海堀正博氏が「土砂災害防止機能も備えたため池への期待」と題し、土石流を受け止め、防災・減災機能を発揮するため池の多機能性を最大限に活かし、地域を守るための展望についてお話しされました。

続いて、農林水産省より「農業用ため池の防災・減災対策について」情勢報告の後、①「広島県のため池総合対策について」②「広島県ため池支援センターの取組」③「ため池防災における現状と保護・駆除対応について」④「簡易手法を用いた、ため池洪水量算定と防災機能算定手法の紹介」等、ため池の管理及び防災、環境への配慮に関する事例発表が行われました。



最後に、次回開催県である岐阜県農政部の若山次長より、来年の岐阜開催への案内があり、1日目は盛会のうちに終了しました。

2日目 現地見学会(10月24日)

2日目には、ため池の改修工事や多面的な活用事例を学ぶ現地見学会を、安芸・備後の2つのコースで実施しました。
【安芸コース】では、改修工事中の「小野池(このいけ)」(東広島市)を訪れ、貯水池内の泥土を再利用した抑え盛土工法など、最新の技術を視察しました。

【備後コース】では、備後三大池の一つである「春日池(かすがいけ)」(福山市)を訪れました。この池は、地域の憩いの場として親しまれる一方、豪雨時には雨水貯留施設(洪水調節池)を有し、流域治水としても重要な役割を担っており、ため池の防災・多面的機能の重要性を改めて感じる事ができました。



小野池の全景



小野池研修の様子



春日池の全景



春日池研修の様子

本フォーラムは、ため池に関わる関係者が一堂に会し、豪雨災害に見舞われた経験を踏まえた、ため池の安全性確保、安心して暮らせる地域づくり、次世代への継承などについて専門性を高め視野を広げる極めて有意義な場となりました。

★ 未来へつなごう! ★ ふるさと^{みどり}の^ど水土里^り 子ども絵画展

2025

「未来へつなごう!ふるさと^{みどり}の^ど水土里^り子ども絵画展2025」に全国各地から多数の作品が寄せられ、全2,625作品の応募の中から、入賞33作品、水土里ネット賞56作品、入選141作品が決定しました。広島県からは、水土里ネット賞3点、入選15点が選ばれました。



水土里 ネット 祇園 八木用水賞

「私の心をおだやかにする水土里」
久永 あかり (広島市立古市小学校)



水土里 ネット 福山 優秀賞

「すいしゃのおしごと」
川本 彩生 (学校法人杉原学園 松永幼稚園)



水土里 ネット 福山 くawaii大賞

「近所のくわいばたけ」
金藤 綾那 (福山市立川口小学校)

入 選



「おいしいお米をありがとう」
行廣 真一 (学校法人杉原学園 松永幼稚園)



「ジャンケンポン」
若井 結希乃 (学校法人三光学園 神辺千鶴幼稚園)



「元気なお米のいね」
広常 麗奈 (福山市立新涯小学校)



「たくさんのかたつむり」

田口 千晴

(学校法人三光学園 神辺千鶴幼稚園)



「たいそうしてるザリガニさん」

石塚 隼斗

(学校法人三光学園 神辺千鶴幼稚園)



「カメさんのだいこうしん!!」

平田 心奏

(学校法人三光学園 神辺千鶴幼稚園)



「おこめとなつやさいでカレーをしたよ」

小川 愛由

(学校法人杉原学園 松永幼稚園)



「大玉すいか」

金谷 祐玖

(学校法人杉原学園 松永幼稚園)



「大好きな真っ赤なトマト」

内藤 知比古

(学校法人杉原学園 松永幼稚園)



「ぼくが見つけたカブトエビ」

三島 祥太朗

(学校法人三光学園 認定こども園 千鶴幼稚園)



「家族みんなの畑」

西村 奏汰

(学校法人杉原学園 松永幼稚園)



「オタマジャクシ、田んぼの中で楽しそう」

今津 帆乃美

(広島市立八木小学校)



「いねとおニヤンマ」

藤井 進平

(福山市立川口小学校)



「おばあちゃん家に行っておいしいトマト食べたよ」

延谷 咲心

(福山市立川口小学校)



「米づくりはチカラ仕事」

季平 遊喜

(福山市立山南小学校)

農業農村整備の集い

令和7年11月26日(水) 東京・平河町のシェンバツハ・サボーにおいて、「農を守り、地方を創る予算の確保に向けて」のキャッチフレーズのもと、要請集会が開催されました。

当日は、衆参両院の国会議員、全国の土地改良関係者1,200名が参集しました。

財務省や農林水産省に対する要請文が満場一致で採択され、盛会のうちに終了しました。



第47回全国土地改良大会佐賀大会の開催

令和7年10月15日(水) 大会テーマ「水を利用して土を活かす さがで語ろう郷里の未来」のもと、全国から約4,200名の農業農村整備事業関係者が佐賀県佐賀市のSAGAアリーナに参集しました。

国の礎である農業を支える土地改良施設を守り、農業・農村の重要性を共有し、水土里の礎を力強く未来に繋いでいくことを高らかに宣言し、次回開催となる第48回全国土地改良大会奈良大会に引き継がれました。大会式典中に行われた令和7年度土地改良事業功績者表彰では、農林水産大臣表彰を東広島市土地改良区理事長の仲伏英雄氏が受賞されました。



全国土地改良大会 会場(SAGAアリーナ)



農林水産大臣表彰 仲伏 英雄氏

男女共同参画推進大会inくまとの開催

令和7年11月4日(火)から令和7年11月5日(水)にかけて、熊本県内にて「つながる、広がる、農業農村の力。男女共同参画推進大会inくまもと」が開催されました。総勢240名が参加され基調講演、パネルディスカッション、交流会、さらには翌日の現地視察研修を通じ、全国の皆さまと多様な視点を共有でき、大変有意義な時間となりました。

